



The bridge to possible

ソリューション概要

Cisco public

Intersight Infrastructure Service を使うべき 4 つの理 由

今日のリモート作業環境において、IT は効率的に運用を継続する必要があります。

「ニューノーマル」によって、IT 部門の大半がリモートで対応しています。現場でスタッフの受け入れを再開する準備ができていると組織が判断した場合も、IT 運用はこれまでとは異なってきます。インフラストラクチャをリモートで管理およびサポートする機能が必要であり、そのためにシンプルかつ便利で、安全な方法が求められています。シスコでは、急速に増加しつつある 14,000 人を超えるシスコデータセンターのお客様のニーズに応えるために設計された、革新的なシステム管理およびサポート機能を通じて、チームがどこからでも作業できるように支援しています。

Intersight Infrastructure Service の導入

シスコのクラウド運用プラットフォーム Intersight の一部である Cisco® Intersight™ Infrastructure Service は、プロアクティブなサポートとエンタープライズクラスのセキュリティを備えています。Cisco UCS®、HyperFlex™、コンバインド インフラストラクチャ ソリューションなどの Intersight に接続されたシスコデータセンター製品、およびサードパーティのエンドポイントを管理するためのインテリジェントな SaaS サービスです。ニーズに合ったライセンスオプションを備えた Intersight Infrastructure Service は、時間を節約し、業務を容易にするように設計されています。

Intersight のメリットをご確認ください。

- インフラストラクチャの管理方法をシンプルに
- データセンターの設定とプロビジョニングを自動化
- 統合サポートで時間を節約
- 組み込みセキュリティでリスクを軽減

このドキュメントでは、それぞれの利点について詳しく説明しています。図 1 は、Intersight の主な機能の概要を示しています。

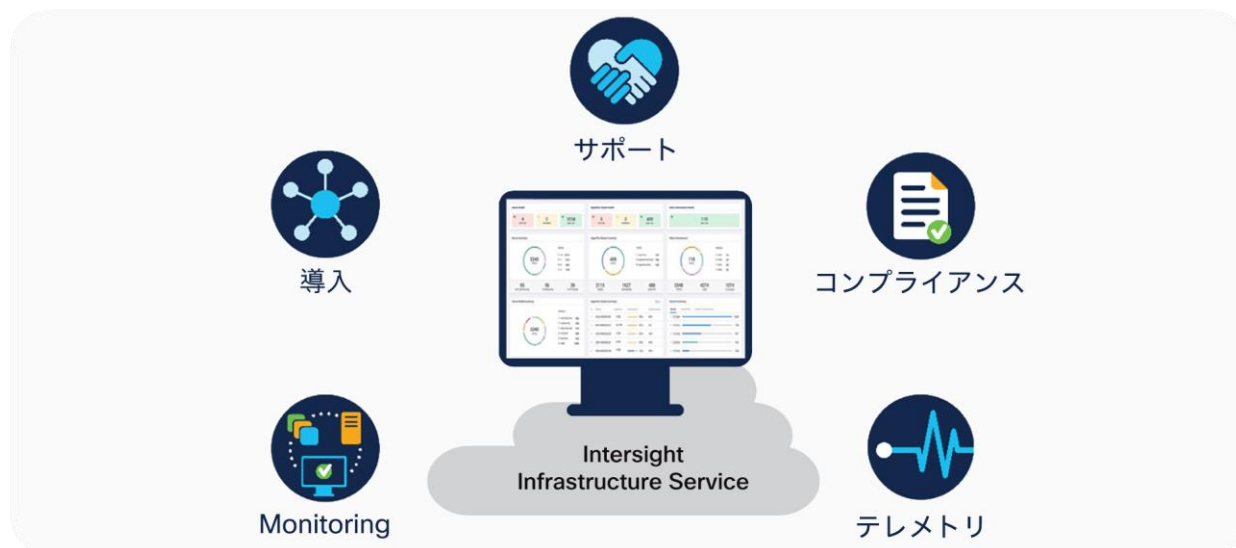


図 1.

Intersight Infrastructure Service の利用方法

インフラストラクチャの管理方法をシンプルに

Intersight Infrastructure Service は、初日から日常のライフサイクル運用に至るまで、価値を提供します。インフラストラクチャの導入、管理、アップグレードを問わず、Intersight Infrastructure Service は IT 運用を変革します。インターネット接続が可能な場所であればどこからでも単一の接続ポイントを提供し、Cisco HyperFlex ハイパー コンバージド インフラストラクチャ (HCI)、Cisco UCS、およびシスコ コンバージド インフラストラクチャを直感的な UI、仮想アプライアンスまたはモバイルアプリを通じて管理できます。Intersight Infrastructure Service は、コアからエッジに至るまで、分散コンピューティング環境を管理するための安全で統一された方法です。

データセンターの設定とプロビジョニングを自動化

ポリシーを一度作成するだけで、IT スタッフがサーバーを設定して導入し、ポリシー、サーバーのパーソナリティ、およびワークロードを自動的にかつ一貫して調整できます。いくつかの簡単な手順で、[サーバープロファイルを作成](#)できます。ポリシー適合とサーバー構成を効率化することによって、サーバープロファイルでリソースを管理できます。サーバー プロファイル ウィザードを使用してサーバープロファイルを作成するか、Cisco Integrated Management Controller (IMC) から Cisco UCS C シリーズサーバーの詳細設定を直接インポートします。

ウィザードを使って作成したサーバープロファイルを使用して、サーバーをプロビジョニングし、サーバーをスムーズに展開するためのポリシーを作成し、構成の不一致が原因で生じる障害を排除できます。

Intersight Infrastructure Service の高度な自動化には、エッジロケーション、ハイパー コンバージド インフラストラクチャ、および SD-WAN テクノロジーを統合する機能が含まれています。Intersight HyperFlex SD-WAN インストーラは、Cisco SD-WAN ソリューションを HyperFlex Edge クラスタに迅速に設定して導入します。Cisco SD-WAN vEdge ルータは、Cisco SD-WAN ソリューションの重要な WAN、セキュリティ、マルチクラウド機能を提供するアーキテクチャにおいて、ルーティングコンポーネントとして機能します。

統合サポートで時間を節約

Intersight Infrastructure Service は、プロアクティブなシステムサポート、効率性の向上、コストの削減、解決時間の短縮により問題を防ぐのに役立ちます。テレメトリデータは自動的に統合され、推奨事項はわかりやすい実用的な形式で表示されます。Intersight では、Smart Call Home サービスを通じてプロアクティブなテクニカルサポートを提供し、サービスリクエストを開いたときにテクニカルサポート診断ファイルを自動的に生成してアップロードします。返品許可 (RMA) も自動的に生成され、各案件の時間を大幅に節約できていることがわかっています。

ハードウェア互換性リスト (HCL) 機能を使用して、ファームウェア、サーバーモデル、プロセッサ、アダプタ、オペレーティングシステム、およびドライババージョンの検証されていない組み合わせを実行することによるサービスの問題の影響を評価および軽減できます。

組み込みセキュリティでリスクを軽減

Intersight Infrastructure Service は、サポートされているセキュリティアドバイザリやフィールド通知の影響下にあるエンドポイントデバイスに関して、アドバイザリと通知を表示します。シスコ セキュリティ アドバイザリにより、コンプライアンスを確保し、重要なハードウェアおよびソフトウェアの情報を常に把握しておくことができます。シスコ セキュリティ アドバイザリ機能は、アドバイザリのステータスを特定、監視、および更新して、アドバイザリの重大度、影響を受ける製品、および取りうる回避策に関する最新情報を提供します。既知の回避策がない場合は、Intersight から直接 Cisco Technical Assistance Center (TAC) でサポートケースをオープンし、迅速な解決の支援を求めることができます。セキュリティアドバイザリのリストは、ヘルプセンターのリソースセクションの Intersight の項目に記載されています。Cisco Intersight Infrastructure Service のフィールド通知とは、特定のコンポーネントのリコールやユーザーアクティビティを加速化するための新しいコードリリースなどのアラートです。

Intersight Infrastructure Service で時間を節約



Cisco Connected TAC 機能により、サポートケースごとに最大 1 時間節約

アドオン機能

シスコは、追加のライセンスを選択することで、より高いレベルの自動化とインテリジェンスを実現する柔軟性の高いアドオン機能を提供しています。拡張された機能には、オーケストレーション、さらに優れたパフォーマンス、リソースング、セキュリティの強化が含まれます。主要なアドオン機能の一部については、以下の段落に記載されています。

Intersight 仮想アプライアンスおよびプライベート仮想アプライアンス (別売り)

SaaS 管理モデルでは十分に対応できない可能性があるシステムを管理するために、追加のデータローカリティやセキュリティニーズがある場合は、オンプレミス環境に Cisco Intersight 仮想アプライアンスソフトウェアを活用できます。Cisco Intersight 仮想アプライアンスを使用すると、導入が容易な VMware OVA で Intersight インフラストラクチャサービスを最適な方法で実行でき、SaaS インフラストラクチャ管理のすべての利点を活用してセキュリティを強化できます。また、新しい Cisco Intersight プライベート仮想アプライアンスは、オンプレミスで実行され、同様のメリットを提供します。シスコ仮想アプライアンスの詳細をご覧ください。Cisco Private Virtual Appliance に関するビデオを観るには、[ここをクリックしてください](#)。

オーケストレータ

Intersight Infrastructure Service Premier エディションには、Cisco UCS、Cisco HyperFlex、およびサードパーティシステム全体のオーケストレーションが含まれています。オーケストレーションにより、ストレージレイのプロビジョニングや、複数のタスクを実行することなくテンプレートから新しい仮想マシン (VM) を導入するなど、複雑なワークフローを作成して実行できます。[Cisco Intersight Orchestrator](#) の詳細をご覧ください。

Intersight Workload Optimizer

Cisco Intersight Workload Optimizer (IWO) は、Ciscoサーバーとハイパー コンバージド インフラストラクチャを管理するだけでなく、Cisco Intersight の機能を拡張します。IWO を使用すると、ハードウェアおよびソフトウェアスタック全体、オンプレミス、およびパブリッククラウド上で、あらゆるアプリケーションワークロードの可視性、洞察、および意思決定の自動化ができます。これにより、チームはプロアクティブにコラボレーションを強化できます。IWO の詳細については、[IWO ソリューション概要](#)を参照してください。

Intersight Kubernetes Service

別の SaaS Intersight モジュールである Cisco Intersight Kubernetes Service (IKS) を使用すると、チームはあらゆるオンプレミス環境とパブリッククラウドでアップストリーム Kubernetes クラスターのライフサイクルを作成および管理できます。IKS は完全に監督された、軽量型コンテナ管理プラットフォームであり、エンドツーエンドの自動化によって仮想またはベアメタルの Kubernetes クラスターのプロビジョニング、保護、スケーリングおよび管理のプロセスを簡素化します。これには、ネットワークング、ロードバランサ、ネイティブダッシュボード、ストレージ プロバイダー インターフェイスの統合が含まれます。IKS の詳細については、[IKS At-a-Glance](#) を参照してください。

詳細情報

Intersight を使用して、リモートおよびオンサイトの監視で IT を効果的に管理できるあらゆる方法をご確認ください。以下をご覧ください。

- [Intersight.com](#)
- [ソリューション概要](#)
- [デモ](#)

または、[わずか 5 分](#)で開始できます。

©2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2024年2月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先